

⑥落雷を受けたら100%死ぬ→ウソです

死亡する場合がありますが、ちょっとしたやけどで済む場合もあります。
心臓が止まっても応急措置が適切であれば、助かる場合もあります。

いかがでしょうか、ちなみに避難場所として安全なのは、建物の中とか、車の中です。
くれぐれも高い木の下や建物の軒下には避難しないよう注意してください。

また、何よりも大切なのは、屋外で行動するとき、積乱雲の発生状況や梅雨前線などの気象状況を事前に充分チェックする事です。

自分の身のためです、決して他人事ではありません。

2. 投資入門講座

前はアセットアロケーション（資産の分散）の重要性をお話ししました。

その資産配分を考えるためには、金融資産を分類する事が必要です。分類したそれぞれのカテゴリーを「アセットクラス」と言います。

アセットクラスの分け方は様々ありますが、ここでは大きく6つに分類します。

①流動性資産

リターン（収益性）は期待できないが、市場の変動による資産への影響は少ない。
安全性を重視し、流動性が高く、いつでも現金化することができます。

☆普通預金、郵便貯金、MRF

②日本株式

☆国内株式、主に国内株式に投資する投資信託、ETF、ミニ株

③日本債券

☆中期国債、長期国債、個人向け国債、地方債、日本企業の社債、MMF、中期国債ファンド、短期公社債投信、長期公社債投信、定期預金、主に日本債券に投資する投資信託

④外国株式

☆米国株や中国株などの外国株、主に外国株式に投資する投資信託

⑤外国債券

☆外貨普通預金、外貨定期預金、外国国債、外国企業の社債、世界銀行などの国際機関の債券、外貨MMF、主に外債に投資する投資信託、外国為替保証金取引など

⑥その他の資産

上記①～⑤のどれにも属さない商品

☆不動産、REIT、日本国及び外国のバランス型投資信託、金、商品ファンド、オルタナティブ投資商品など

ここで、金融商品のもつリスクを簡単に説明します。

◇価格リスク：株式などの資産価格の変動によるリスク

◇為替リスク：為替の変動によるリスク

◇金利リスク：金利の変動によるリスク

◇信用リスク：投資先が破たんすることによるリスク

◇流動性リスク：必要なときに現金化できないリスク

- ①流動性資産においては収益が小さいため信用リスクは取らないようにします。
- ②日本債券においては金利リスクがあります。また信用リスクは取らないようにします。
- ③日本株式においては株価リスクと信用リスクがあります。
- ④外国債券においては金利リスク、為替リスクがあります。信用リスクは取らないようにします。
- ⑤外国株式においては株価リスク、為替リスク、信用リスクがあります。
- ⑥その他の資産においては、個別にそれぞれリスクがあります。例えば不動産においては、流動性リスクがあり、必要なときに現金化ができないことと、無理に現金化しようとするれば価格を下げることもあるし時間もかかります。ここでは、売却ができない、しにくい資産は基本的に投資の対象には入れない方が良くと思います。

リスクとリターンの大きい順に並べますと。

▽外国株式

▽日本株式

▽外国債券

▽日本債券

▽流動性資産

の順になってきます、個別の商品では逆転することもあります。また、その他の資産においては個別ごとのリスクとリターンの評価となり一概にまとめて上記の序列に入れることはできません。

アセットクラスの特徴をふまえ、リスクの許容度と運用可能期間、それに個人の投資哲学または適合性などを考慮しながらアセットクラスの配分比率を決定していきます。

より大きなリターンを目指すのであれば、株式の配分比率を高め、それとは反対に、より堅実に運用することを目指すのであれば、債券の配分比率を高めていくことになります。

3. リスクサーベイ（リスク調査）の業務開始

リスクマネジメントの研究を以前から手がけていましたが、ここにきてようやく企業リスクマネジメントのコンサルティング業務を開始することになりました。

日本アルマック社が開発した商品名は「アルマック・リスクサーベイ」と呼びます。

今年5月に会社法が施行され、取締役会設置会社では、内部統制システムが機能している体制を構築するよう法律上に掲げられました。

特に大会社の場合は、義務化されたことで、会社経営の今後のあり方に警鐘を鳴らすことになりました。

内部統制システムとは、リスク管理そのものです。リスクサーベイは、その会社が抱えるリスクを認識するための第一ステップを担う商品です。

会社全体から、①リスクを認識→②リスクを特定→③リスク対策の策定を行うための第一ステップだということです。

リスクサーベイは、経営者等のトップヒアリングに質問回答者を限定してはいますが、できるだけ客観的に会社のリスク状態を把握できるよう工夫されています。

これからリスク管理に取り組んでいこうという中小企業だけではなく、自社のリスクの事を第三者の専門家の意見も入れて見てもらい、会社のリスクについて関心がある、雇用問題、個別のリスクに関心があるなど、様々なリスクのニーズに応えることができる商品となっています。

企業を取り巻くリスクを客観的に洗い出し多段階調査を通じて、総合評点と対応するリスク格付けを抽出いたします。

リスク対策の優先度を、誰から見ても分かり易くお見せいたします。

基本料金は315,000円からとなります。

オプションとして、就業規則簡易チェック…52,500円

保険証券簡易チェック…52,500円

御社のリスク管理の第一歩に「リスクサーベイ」はいかかですか。

ここで経営者の方に耳寄りな情報です。

この「リスクサーベイ」を先着1社に限り無料にて、ご提供申し上げます。

ご希望の方は下記の連絡先までお願い申し上げます。

4. 45才までのマネー&保険講座 好評開催中!

マネー教育を受けるメリットは

①収益機会をしっかりとつかむことができる→より大きな収益が得られる。

②生命保険の生涯負担が半分以下になることもあります。損害保険の無駄も省ける。

日 時 7月コース // 7月22日(土) 午後2時~4時

(いずれも午後1時30分より受付開始)

場 所 山形ビッグウィング4階会議室

お申し込みは下記の連絡先へ、お申し込みの方には受講票を送らせていただきます。

各コースとも10名様限定となりますので、お申し込みはお早めに。

6月コースの受講者の声を別紙にて記載しています。

事故(自動車事故や病気による入院など)が発生しましたら速やかにご連絡お願い申し上げます。素早くご連絡いただければ、保険金の支払いも早くなります。また様々な変更事項がありましたら、これも速やかにご連絡お願い申し上げます。

☆☆

発行者 有限会社 F P コンパス

武田幸夫 スタッフ:木村正照、阿部信、高橋治子、深瀬幸子、多田恵子

〒994-0054 山形県天童市荒谷2589

TEL 023-654-8831 FAX 023-654-8832

E-mail tide@mm.newweb.ne.jp

お客様の声



今まで知らなかった話を聞くことができた。
一度聞いただけでは理解できない事が多かったが、自分で調べてさらに勉強するきっかけになったと思う。

もらえるお金が少ないので、長期的な計画を立て、しっかりと管理しなければいけないと感じた。また基本的なことで知らないことが数沢山あるので、今度また機会があればお話を聞きたいです。

ご氏名 匿名

※ 匿名でも構いません

今後ますます少子高齢化社会になっていく中で、自分達の生活設計や資産形成をもっとしっかりと考えていかなくてはならないと感じました。

ご氏名

※ 匿名でも構いません



貴重なご意見をいただきありがとうございます。

長期運用のメリットがわかった。講議は図も併用されわかりやすかった。現在自分が加入している保険も見直してみようと思う。

ご氏名

※ 匿名でも構いません